

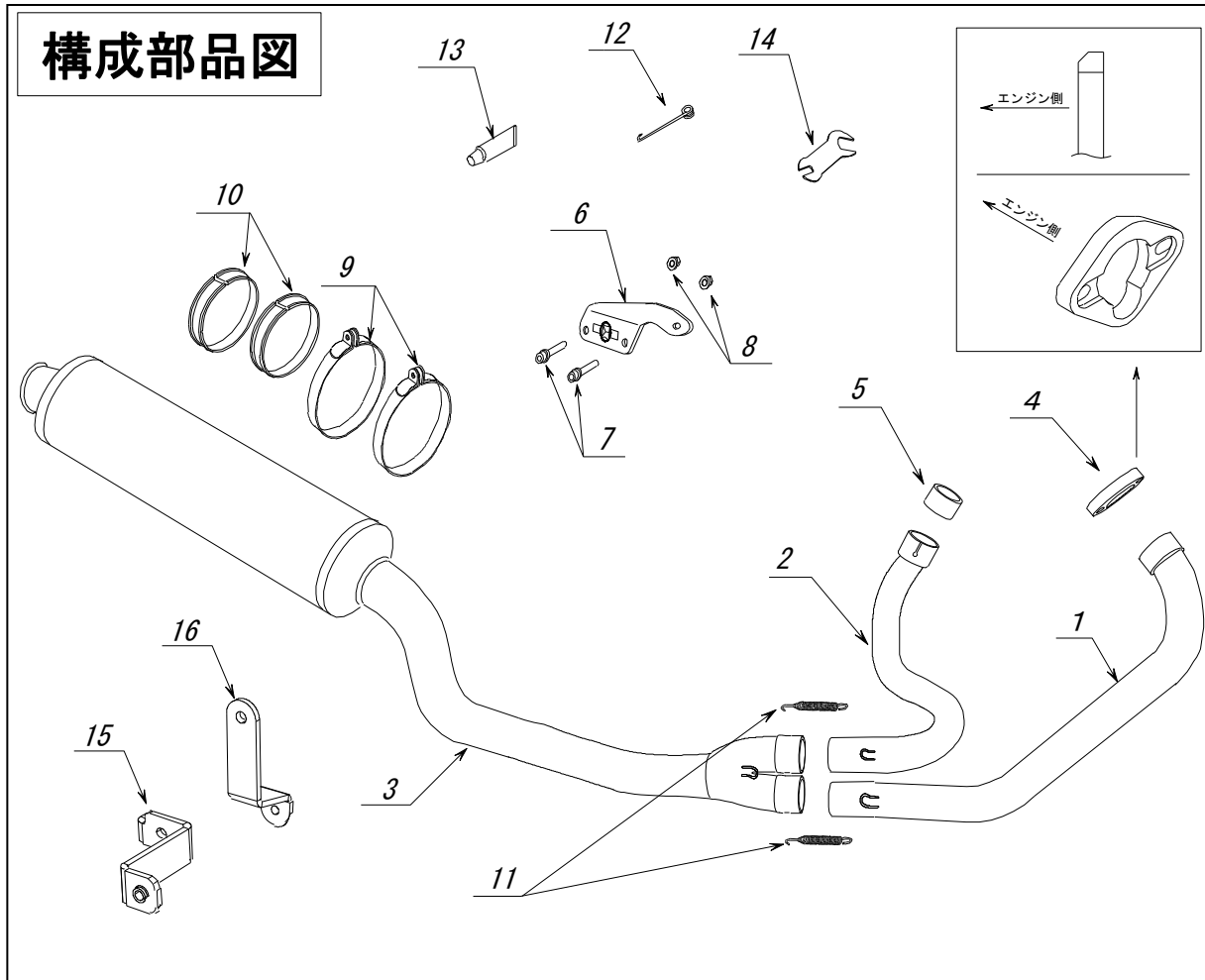
MORIWAKI ZERO SS (ANO/WT/SUS)

HONDA VTR/VTR-F/VTR TypeLD '09-

(01810-L31F2-00/01810-L21F2-00/01810-L41F2-00)

取扱説明書

作業される前に必ずお読み下さい



No.	部品番号	商品名	入数	単価(税抜)	No.	部品番号	商品名	入数	単価(税抜)
1	18110-L31F2-00	フロントパイプ #1	1	¥14,000	10	18932-LK168-00	バンドラバー	2	¥300
2	18120-L31F2-00	フロントパイプ #2	1	¥13,500	11	0A02-08709-KK20	スプリングロック	2	¥300
3	18210-L31F2-00	テールパイプComp. (ANO)	1	¥55,000	12	3A32-00000-00T0	スプリングブラー	1	¥200
	18210-L21F2-00	テールパイプComp. (WT)	1	¥55,000	13	860-806-0600	ME30(シールボンド)	1	¥600
	18210-L41F2-00	テールパイプComp. (SUS)	1	¥45,000	14	3111-00612-0400	バンドクリップ	1	¥180
4	18150-P3162-00	EX.フランジ	1	¥980	15	64541-L31F2-00	アンダーカウルステー-R	1	¥730
5	18320-LK176-00	マフラーパッキン	1	¥750	16	64542-L31F2-00	アンダーカウルステー-L	1	¥710
6	18940-L31F2-00	バンドステー	1	¥1,800			取扱説明書	1	非売品
7	1261-060200-210	フランジキャップホルト 6×20	2	¥70			排気ガス試験結果証明書	1	非売品
8	2100-060000-010	フランジナット 6mm	2	¥100					
9	18931-L3168-00	サイレンサーバンド	2	¥1,200					

【仕様】	《適応車種》	車種名	VTR/VTR-F/VTR Type-LD
		年式	2009年以降
		型式	JBK-MC33
	《その他》	マフラー装着のままでもオイル、オイルフィルター交換可能	
	《音量》	91 dB (近接), 80 dB (加速)	
	《重量》	3.7 kg (STD 比 67%)	
	《JMCA 認定番号》	JMCA1110007004	



注意事項

- ① マフラー取付け時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締付けを十分確認して下さい。またマフラーが各部と干渉していないか十分確認して下さい。
- ② 走行中、振動によりボルト類が緩むことがありますので、必要に応じて増締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず乗車前に点検して下さい。
- ③ 本製品はスタンダード車両を対象としたマフラーです。車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのでご了承下さい。

【準備物】

《工具》	10mmメガネおろスパナ	1本	12mmメガネおろスパナ	2本
	22mmメガネおろスパナ	1本	5mmヘキサゴンレンチ	1本
	トルクレンチ、プラスチックハンマー			
《その他》	軍手、脱脂洗浄剤、ジャッキ、接着剤			

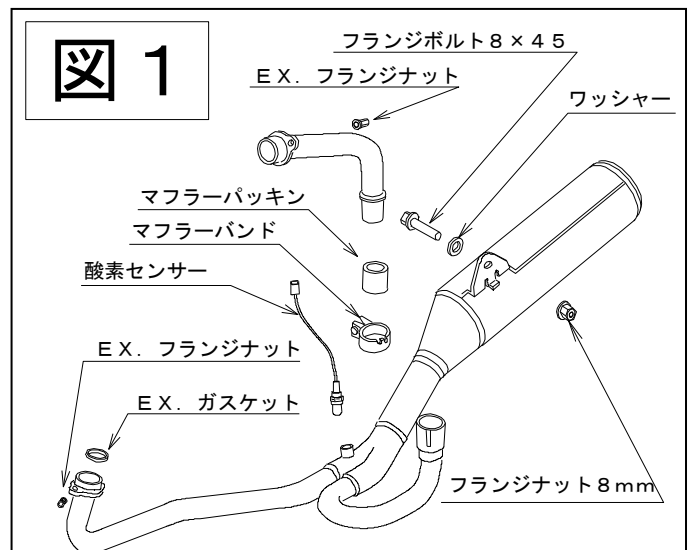
※マフラー交換時には、できるだけエキゾーストガスケットの交換をお勧めします。
ホンダ純正部品 18291-MN4-920

【作業行程】

《1. スタンダードマフラーの取外し》

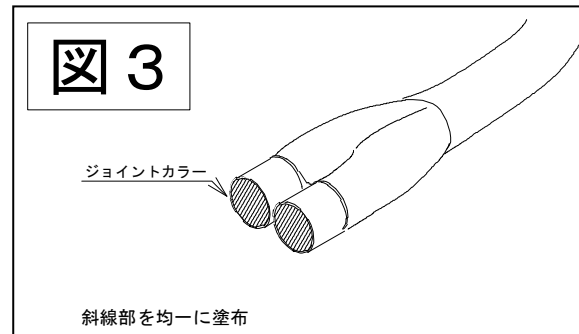
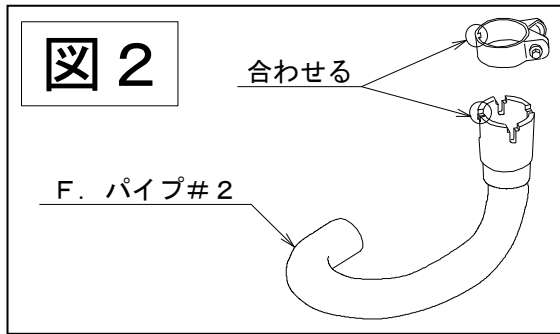
- ① スタンダードマフラーは重いのでマフラーの下にジャッキを置く事をお勧めします。
- ② 酸素センサーのカプラーを取外し、センサー本体をスタンダードマフラーから外します。
- ③ フランジボルト8×45を緩めます。(作業をしやすくする為にフランジボルトは掛けたままにして下さい)
- ④ フロントシリンダーのEX. フランジナットを外します。
- ⑤ マフラーバンドを十分緩めます。
- ⑥ フランジボルト8×45を抜きマフラーCOMPを外します。
- ⑦ スタンダードリヤシリンダー側のEX. フランジナットを緩めます。
- ⑧ 新品のフロント側EX. ガスケットをお持ちの方は、古いガスケットをきれいに取除きます。

※取残しがありますと排気漏れを起こす可能性があります。



《 2. 取付け準備》

- ① フロントパイプ#2にマフラーバンドの爪を合わせて取付けます。(図2)
- ② ジョイントカラー内面に付属のME30を薄く塗布します。(図3)
- ③ スタンダードマフラーから外した酸素センサーをテールパイプCOMPに取り付ける。



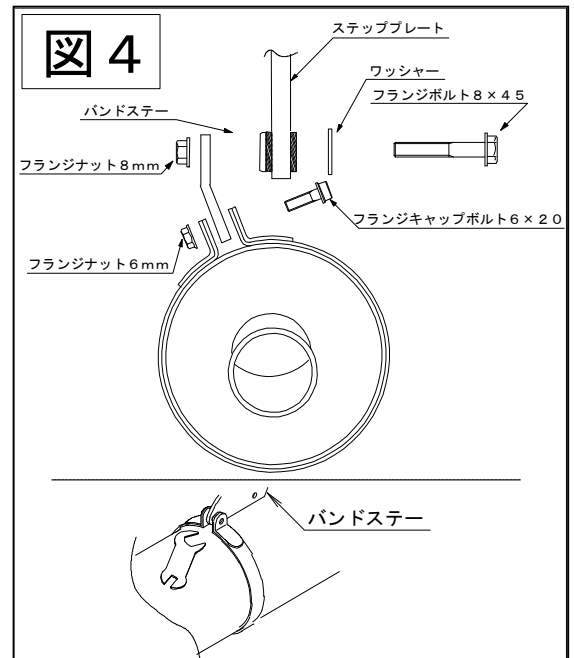
《 3. モリワキマフラーの取付け》

- ① 新品のEX. ガasketをお持ちの方はポートに差込みます。
- ② EX. フランジの向きに注意してフロントパイプを仮止めます。(全体図)
- ③ リヤシリンダー側に残したSTDパイプへ付属のマフラーパッキンを取付けた後、フロントパイプ#2を差込み、仮止めます。
※STDマフラーパッキンが張付いている場合はきれいに取除いて下さい。
- ④ テールパイプAssyを差込みます。
- ⑤ バンドステー、テールパイプAssyを仮止めます。(図4)
付属のクリップでサイレンサーバンドを挟むと作業が楽です。
- ⑥ 酸素センサーのカプラーを差し込みます。
※ハーネスの突っ張りや挟み込みが無いように注意し、配線してください。
- ⑦ スプリングを取付けます。
- ⑧ フロントパイプとエンジン(オイル窓)やサイレンサーとリヤキャリアーが車体と干渉していないか確認します。
- ⑨ 本締めします。本締め順序は、

1. フロントシリンダーとEX. フランジ(左右均等に締めて下さい。)
ナット / 締付トルク:0.8-1.0Kgf・m/8-10N・m
2. リヤシリンダーとEX. フランジ(左右均等に締めて下さい。)
3. リヤシリンダーのマフラーバンド
4. バンドステーとタンデムステップ
フランジボルト M8 / 締付トルク:2.5Kgf・m/25N・m
5. バンドステーとサイレンサーバンド
フランジキャップボルト M6 / 締付トルク:1.2Kgf・m/12N・m

※EX. フランジを傾いたまま締めると排気漏れやフランジ取付けボルトが破損する恐れがあります。

- ⑩ 締め後、マフラーに付いた汚れをしっかりと脱脂洗浄剤で拭き取って下さい。
※特にサイレンサーに油分が付いたままエンジンをかけるとむらができます。



《 4. ホンダモーターサイクルジャパン製アンダーカウルをご使用の場合》

ホンダモーターサイクルジャパン製アンダーカウル（商品番号：OSK-ZX-KFK12～16）の取り付け時には本製品付属のアンダーカウルステーを使用し、アンダーカウルを取り付けてください。（アンダーカウル製品のステーL,Rは使用しません。）
EXパイプとの干渉が無いか確認してください。

《 5. 確認》

エンジン始動前

車体後部を上下に揺らし、各部干渉がないか確認して下さい。
各ボルト、ナットの締忘れがないか確認して下さい。
エンブレムのビニールとジョイントカラーのシールは剥がして下さい。

エンジン始動直後（エンジンの熱に十分注意して下さい。）

EX、フランジ部、フロントパイプジョイント部、テールパイプジョイント部から排気漏れがないか確認して下さい。

乗車前

各部ボルト、ナットの緩みがないか確認して下さい。

※サイレンサー下部に水抜き穴があり水蒸気等が出る場合がありますが性能上問題ありません。

【JMCA について】

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、運輸省、通産省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

走行の際は付属のJMCAカード及び、排出ガス試験結果証明書を携帯してください。

【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
同封のJMCAカード、排出ガス試験結果証明書は、走行時にご携帯下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。
あらかじめご了承下さい。

(株)モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
TEL:059-370-0090 FAX:059-370-0152
HP <http://www.moriwaki.co.jp>